

# 現代社会「地球環境問題」

## 1 授業のポイント1

### 包括的に環境問題を振り返る

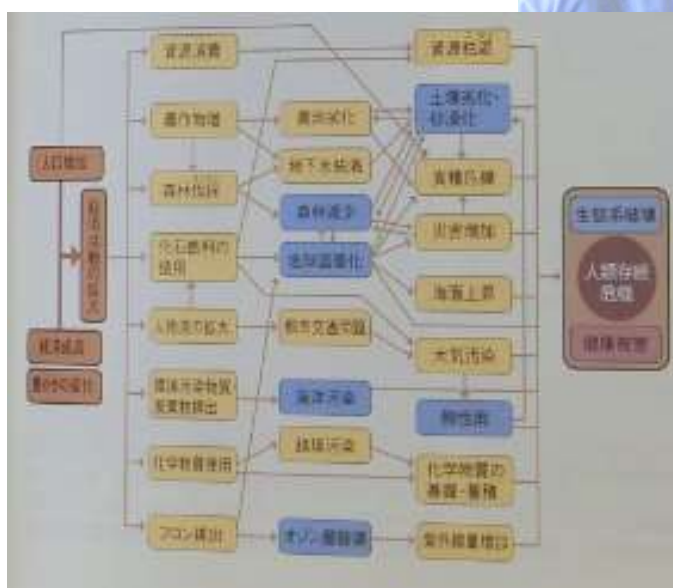


- 地球環境問題
- ①地球温暖化
  - ②オゾン層破壊
  - ③酸性雨
  - ④森林の減少と砂漠化
  - ⑤生物多様性の維持

教科書を活用しながら、5つの環境問題について振り返りました。

100年前には「なかった問題」です。

問題は、時代とともに変遷することも学んでいます。



## 2 授業のポイント2

### 2048年のときの環境問題を予想する

○本時の中心課題「現在の環境問題は、30年後も問題であり続けるだろうか？」

2018年における、次にあげた地球環境問題は、2048年（12期生が45～46歳となる、今から30年後）も「問題」であり続けているのか？

○…ほぼ解決されているであろう or ×…依然として問題であろう

・中心課題に対する生徒のグループの予想例

I 自分の考え、グループ内の考え(○・×を記入)

メンバー	自分	A 榊井	B 島田	C 保木	D 清水	E 大橋	○-× (合計数)
地球温暖化	×	×	×	×	×	×	0-5
オゾン層破壊	×	×	○	○	×	×	2-3
酸性雨	○	○	×	×	○	○	3-2
森林の減少と砂漠化	×	×	×	×	×	×	0-5
生物多様性の維持	×	×	○	×	×	×	1-4

○グループごとに自他の考え方を共有しました



課題「現在の環境問題は、30年後も問題であり続けるだろうか？」を基に、まず、自分の予想を考えました。

グループの予想を見ますと、自分と同じ考えの生徒もいますが、結構バラバラになることが分かります。



生徒たちは、このときに「自分の考えと友達の考えは違う」ということに気づきました。それでも同じ班ですから、似た部分があります。

次に全体で予想を共有しました。

### 3 授業のポイント3

## 自他の考えを共有し合い、自分との考え方の違いに気づく

○グループの発表の司会をする様子



○温暖化を視点に、30年後の予想を考察している様子

- ・ 1班、温暖化問題は解決すると予想した生徒は0人、問題として残ると考えた生徒5人
- ・ 2班、温暖化問題は解決すると予想した生徒は5人、問題として残ると考えた生徒0人

	予想	1	2	3	4	5	6	結論	
温暖化	○	0	5	3	0	0	0	○ 8	さんには こまにやること。(子ある) 解決
	×	5	0	2	5	4	5	×	21
オゾン層	○	2	4	4	1	0	2	○ 14	問題視 開発
	×	3	0	1	4	4	3	○ 15	はかい物質
酸性雨	○	-	-	-	-	-	-	○	-
	×	-	-	-	-	-	-	×	-
砂漠化	○	-	-	-	-	-	-	○	-
	×	-	-	-	-	-	-	×	-
生物多様性	○	-	-	-	-	-	-	○	-
	×	-	-	-	-	-	-	×	-

温暖化の問題が解決するかどうかを話し合う場面です。

司会の生徒：1班お願いします。

1 班：解決すると予想した生徒は0人、問題として残ると考えた生徒5人です。

司会の生徒：なぜ、そうに考えましたか？

1 班：大きな問題なので解決できないと思いました。

司会の生徒：2班お願いします。

2 班：解決すると予想した生徒は5人、問題として残ると考えた生徒0人です。

司会の生徒：なぜ、そうに考えましたか？

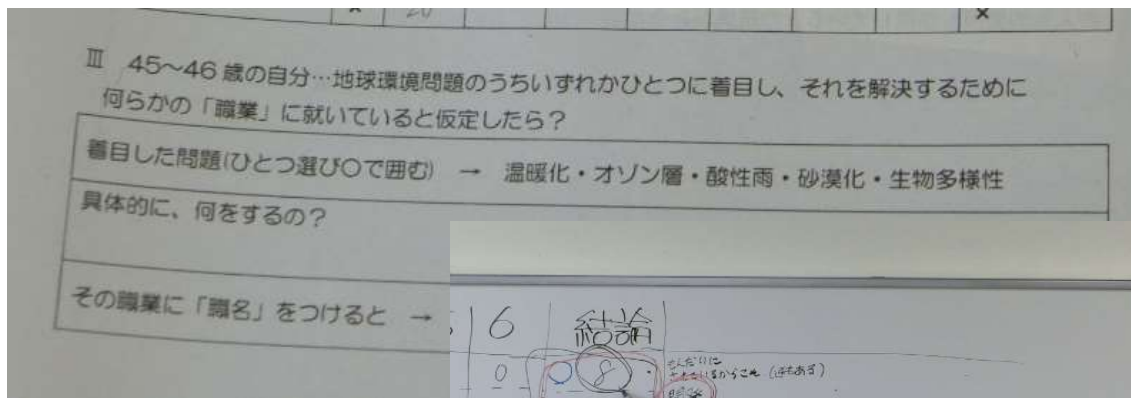
2 班：重大な問題なので解決方法が見つかると思いました。

・ 見方一つで、答えは大きく違うことを学びました。

#### 4 授業のポイント4

### 職業を視点に、環境問題を解決する方法を考える

T：地球温暖化問題を解決するための職業を考えましょう。



T：地球温暖化問題は、将来、解決が難しい問題とみなさんは考えていますね。

T：最後に、この視点で学習を深めましょう。

T：地球温暖化問題を解決するための仕事を創造してみましよう。

C：環境警察です。二酸化炭素の排出を取り締まる仕事をします。

C：アースコンダクターです。地球の公転軌道を調節します。

C：酸素クリエイターです。光合成が行っている機能をもつ、二酸化炭素を酸素に変換する仕事をします。

T：今ある仕事は、何十年後日には、60 歳なくなると言われています。詳しく見るとなくなるといより新しい仕事を作られると言うことが本当のようです。先生が子どものころはパソコンがありませんでした。システムエンジニアという仕事はなかったのです。携帯電話会社はありませんでしたから、その仕事はなかったのです。

時代の変化に伴って、これからも社会は変化していきます。それに対応できる知恵を身につけましょう。